

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.31					3.4
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.6	0.35	-	-			3.6
2.1 室温制御		4.2	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		5.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		5.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		3.8	0.25	-	-			3.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		4.3	0.30	-	-			
1 換気量		4.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		4.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		5.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.7
1 機能性		3.4	0.40	-	-			3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		5.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31	-	-			3.5
2.1 耐震・免震		3.4	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		4.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源のバックアップ、重要機器は耐震クラスA、重要機器は発電機回路	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具を採用、給水管の系統分け、受水槽を二基設置	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	電力引込みを本線・予備線を採用	3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	消火設備、給排水設備は耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.4	0.29	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高は事務所4.3m、倉庫7.0m以上確保	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率を0.1以下とし、空間の自由度を確保	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		床荷重は1.5t/m <sup>2</sup> を確保	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	機器更新に対応した、ルト、エレベータを確保	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	熱源機器、バックアップ室外機のバックアップスペースを確保	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		横線強調のバルコニーにより美しい外観を演出しまちなみに配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮・快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物の熱負荷抑制		外壁には断熱性の良いパネルを採用	5.0	0.03	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.28	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電パネル採用	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=42.3%	5.0	0.42	-	-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=42.2%	5.0		-	-	
集合住宅の評価			4.0		-	-	
4 効率的運用			4.0	0.28	-	-	4.0
4.1	モニタリング	BEMSの導入	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	定流量弁、擬音装置、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.4	0.63	-	-	4.4
2.1	材料使用量の削減	高強度材料(コンクリート、鉄筋、鉄骨)、免震構造の採用	4.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントを土間スラブ、基礎、杭に採用	5.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	OAフロア:事務室、ビニル床シート:廊下、断熱材:押えコンド	5.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上が容易に分別可能	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22	-	-	3.5
3.1	有害物質を含まない材料の使用	塗床材に使用	4.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	フロン・ハロンを使用していない粉末(ABC)消火剤の採用	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量が一般的な建物と同等	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止	厨房の一部のガスを除いて、その他は全て電気を採用	4.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分なトラックヤード、駐車場を確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの種類や量を推計	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	防音壁採用	4.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	